

学校名	大月小学校
授業者	葛西 祐介

## 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

### 1-1. 単元名

海の中に森をつくる活動

### 1-2. 学年

6年

### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合

### 1-4. 単元の概要

モイカを増やす取り組みについて話を聞く。→自分の調べるテーマを設定する・→テーマについて調べる。  
 （産卵床を設置する。定期的に観察する。）→まとめ・発表する。



### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

6年生では、モイカを増やす取り組みについて調べる「海の中に森を作る活動」を中心に行う。海と山の関係について学習した後、モイカの産卵床を地元の関係者の方々と共に設置し、定期的に、産卵床の観察を行ってだけでなく、校内に水槽を設置してクラスで分担し、継続して観察をしていく。また、モイカ観察後は、身近な海の生き物を水槽で飼育していく。また、海中の素晴らしさを体験するシュノーケリングも行い、海との共生について学んでいく。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を持ちしらべて、まとめ、発信（発表）することができる。</li> <li>・友だちと協力して、作業を進めることができる。</li> <li>・観察を継続して行うことができる。</li> <li>・海と山の関係から、海を守り、海を利用できることの大切さを知る。</li> </ul>
--

1-7. 単元の展開（全25時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
2	<b>【学習活動1】</b> ・生きたモイカの観察 ・海と山の関係について ・課題設定	・学習の説明を行い、海と山の関係について学習後課題の設定をさせる。 ・昨年度の資料も準備しておく。  講師：黒潮実感センター
10	<b>【学習活動2】</b> ・調べる	・継続して調べていくことを確認させる。 評価 ・自分に合った方法で調べることができる。（観察・記録用紙等）
4	<b>【学習活動3】</b> ・産卵床設置	・日程の説明や、安全面について指導する。 評価 ・進んで安全に活動に参加できている。（観察） 講師：黒潮実感センター ：地域の漁業関係者
1	<b>【学習活動4】</b> ・卵の観察	・学習の確認 評価 ・進んで観察ができているか。（観察・記録） 講師：黒潮実感センター
4	<b>【学習活動5】</b> ・稚魚の放流とシュノーケリング	・学習内容、安全面について指導する。 評価 ・進んで安全に活動に参加できている。（観察） 講師：黒潮実感センター ：大月町ダイビング組合 ：大月町パークボランティア ：元黒潮生物研究所職員
1	<b>【学習活動6】</b> ・少し大きくなった稚魚の観察	・生まれたばかりの稚魚と比較して観察をすること説明させる。 評価 ・視点にそって観察用紙に、記録できている。（観察

		用紙)
2	<p>【学習活動 7】</p> <p>・イカの解剖と、イカ拓作り</p>	<p>・学習の内容の説明をする。</p> <p>・児童が見やすいように解剖の様子を電子黒板に写す。</p> <p>評価</p> <p>・進んで、解剖・イカ拓づくりに参加できている。 (観察)</p> <p>講師：黒潮実感センター</p>
1	<p>【学習活動 8】</p> <p>発表</p>	<p>・学習の説明を行う。</p> <p>評価</p> <p>・地域、保護者、児童に伝わる発表となっている。 (評価)</p>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

・モイカの体のつくりを観察し、友達と協力しながらイカ拓を作ることができる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
①めあての確認	1. 本時の目当てを提示する 2. 学習の流れを提示する ・観察の方法を伝える
②講師によるイカの解剖を観察する。	3. 講師の紹介と、見方を説明する ・全員に見えるように、ビデオカメラで手元を撮影し、電子黒板に映し出す。 ・解剖するイカ中に、同級生が釣って来て、水槽で観察をしたイカも使用する。 評価 進んで観察ができている。（観察）
③イカ拓作り	4. イカ拓の作り方を説明する ・イカは一学期に観察したイカを使用する。 ・全員が、解剖して集めたイカスミを塗っていく。 ・ビニル手袋を全員になせる。 評価 進んでイカ拓づくりができている。（観察）
④振り返り	

### 3. 今回の活動の自己評価

- ・イカの解剖とイカ拓作りは、今回初めて取り組んだ学習であるが、一年間を通して学習する中で、三学期にこの学習をすることで、一年間の学習がつながり、とても良い活動となった。

### 4. 今後の課題

- ・発表にかける時間か少なかったなので、計画のときから十分に確保するようにする。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・特にありません。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。